

# アムス校友会通信

Vol. **10**  
2014. 4

発行：アムス柔道整復師養成学院 校友会

目次

ありがとう! アムス柔道整復師養成学院 ……	1	臨時総会報告 ……	4
会員の皆様へ ……	2	4月からの校友会活動はどうなるの? ……	4・5
ボーリング大会 ……	3	校友会役員からの一言 ……	6・7
感謝の集い ……	3	アムス柔整学院の今 ……	8

**完全! 保存版!!**

**ありがとう!!**

**アムス柔道整復師養成学院!!**



## 会員の皆様へ

平成 26 年 3 月をもちまして学院が閉校しました。  
校友会としましては本当に残念で仕方ありません。



その事により、多数の会員の皆様から校友会の存続が  
心配だというお問い合わせをいただきました。

校友会は我々卒業生が運営するもので学院が閉校したからといってやめることはありません。  
色々な噂だけが先行し、校友会がなくなるだの、一年だけやって終わりだよ、みたいなことが  
何の根拠もなくはびこってしまいました。これも、私の不徳のいたすところであります。  
しかし、トップを任されているものがその場しのぎの発言はできない、また控えよう、自分の  
考えがまとまるまではじっくり考えるべきであると…

今までは豊田さんが一手に引き受けてくださっていた実務面を 4 月以降役員だけで動かしてい  
かなければならないのですが、役員にしても自分の院を持っている方、雇われている方など置  
かれている状況も様々です。

その中で時間を作って活動しなければならず、到底今までのような勉強会やイベントの開催は  
現実的ではありません。

しかし、その中でもアムスの火を消さないようにと、新年互礼会はみなさんのある一定のニー  
ズがなくなるまでは続けたいとは思っていますし、微力ながら会員の皆様の力になれるよう勉  
強会も回数は限られますが考えております。

なかなか今までのようにはいきませんが、我が母校、アムス柔道整復師養成学院の火を消さぬ  
よう、校友会として前を向いて頑張っていきたいと思っておりますので、これからもご協力宜  
しくお願い申し上げます。

校友会 会長

第 1 期生 山脇 功治

## ボーリング大会

平成25年10月6日（日曜日）梅田の桜橋ボウルでボーリング大会が行われました！4～5人のチーム戦で個人戦よりも白熱し、とても整骨院の先生達の会とは思えないほど盛り上がりました。

チームごとに一体感があり、本当に学生に戻ったかのようなひと時でした。昨年話題になった「グラティ」も出ていましたね!!!

中でも五代先生の奥様の安定感には驚きました。きっと家庭も奥様がいるから安定しているんでしょうね（笑）。1期生から12期生まで年齢も様々な人達が交流できる機会は、とても貴重で私にとっても大切な思い出となりました。ボーリングが苦手な方も得意な方も関係なく談笑でき、人間関係が深まり、つながっていくんでしょうね。

またいつかアムスの仲間が集まって、開催されるときは、是非参加してみてください。

[10期生 飯沼 大地]



## 感謝の集い

平成26年3月23日午後1時から「感謝の集い」が開催され、160名を超えるたくさんの方が先生・学友に会う為に集い、文字通り「感謝の集い」となりました。

懐かしい先生や学友との再会に大いに沸き、大いに語り合ったこの日。様々な感謝の言葉を学院の先生や先輩、後輩から聞く事が出来ました。北田先生はいつも学院の掃除をしてくださっていた方々に、元副学院長高橋先生はアムスの理念を現在、沖縄の学校にも根づかせ、「アムス学院は無くなっても理念は残る」と、我々の学び舎は違う形で存続しているとの事をお話して頂き大変嬉しくなりました。12期生でもあった三崎先生は「よい友達に恵まれました」と一教員ではなく、アムス卒業生として学友への想いを・・・写真にもあるように本当に色々な先生方が一堂に会し、話に花を咲かせておられました。

私自身も久しぶりにお会いする先生たちと話をさせていただき、「あのお前がが!?!」と今の現状をお話させていただいた折、大変驚かれながらも満面の笑顔で私の現在を喜んでくださいました。

最後に改めて思い出したのは、アムスは単に授業や国家試験の為だけに存在したのではなく、久しぶりに会っても尚、入学した時と変わらず我々を思い、見守っていてくれた先生方は学院がなくなっても私たちに応えてくれる存在となっていた事、また友人や先輩・後輩と共に過ごした学院生活やその後の交流は一生の宝となっていることを切に感じました。

沢山の思い出をありがとう!!

これからも卒業生一同力を合わせて共に切磋琢磨し、またお会いしましょう!!

[6期生 岡村 優輝]



## 臨時総会 報告

平成26年3月23日、「感謝の集い」に先立って「校友会 臨時総会」を開催いたしました。

当日承認を頂いた議案は2点あります。

1点目は、「会則第3条 校友会事務局の新住所について」昨年10月6日に開催した臨時総会にて承認を受けた新会則（平成26年4月～）ですが、唯一新しい事務局の場所が決まっておらず、空欄となっていました。4月から新会則のもとでの校友会運営となるため、大阪市中央区内に新しい事務局を設置して、臨時総会にて承認を頂きました。今後郵送物は新しい事務局へお送りいただくことになります。

2点目は、平成26年度予算です。卒業生だけの校友会運営に伴い、会計年度を従来の「4月～翌年3月」から「1月～12月」に変更する関係上、平成26年度予算はその調整期間となり、「平成26年4月～12月」という9ヶ月間で編成することになりました。収入・支出のそれぞれのポイントは以下の通りです。

### 【収入】

当該期間内に受講料の発生する勉強会の開催予定もなく、新年互礼会も開催されないことから、収入として考えることができるのは「銀行利息」のみとなります。

### 【支出】

収入同様、当該期間内の活動内容が「5月の勉強会」「平成27年1月実施予定の新年互礼会の案内発送および準備」および「数回の運営会議」のみとなります。これに事務運営費がかかる程度の内容となり、支出も例年と比較して低額となっています。

この2点について議案を提出し、出席者より承認をいただきましたことを報告いたします。

承認いただいた平成26年度予算は右記の通りです。

なお平成25年度決算につきましては、現在作成中です。5月中には評議委員会にて議決を行い、速報として校友会ブログにてご報告する予定です。

### 平成26年度 アムス校友会 予算 (平成26年4月～同年12月)

収 入		¥500
利息		¥ 500
支 出		¥454,400
校友会携帯 維持費		¥ 31,500
ドメイン管理料(HP 及びメールアドレス維持のため)		¥ 21,000
傷害保険料		¥ 44,100
ネットバンキング振込手数料		¥ 18,000
互礼会用往復ハガキ印刷		¥ 19,800
互礼会用往復ハガキ発送		¥ 110,000
役員慰労会 (年 1 回)		¥ 120,000
勉強会講師料		¥ 40,000
予備費		¥ 50,000
収 支		¥-453,900

## 4月からの校友会活動はどうなるの?～Q&A～

### Q. 学院閉校後、校友会は無くなるのですか?

#### A 学院閉校後も校友会活動は継続します。

ただし、今までは学院内に事務局を置き、学院事務職員にそのほとんどの事務作業を担当してもらっていましたが、閉校後はこの体制が継続できなくなるため、100%卒業生だけの運営となります。

これを見越して、この1年間で検討を重ね、以下の様な活動方針を立てて準備してまいりました。4月からはこれらの方針を基に校友会を運営していきます。

- 卒業生だけの自主的な運営
- 活動内容の簡素化(=無理のない活動 ※次頁の設問を参照下さい)
- 解散手続の確定(運営が立ち行かなくなった場合の対応を決めておく)
- 個人情報保護体制の確立(個人情報保護方針の策定)
- 上記内容を反映させた新会則の作成

## 4月からの校友会活動はどうなるの？～ Q&amp;A ～

## Q. どのような活動内容になるのですか？

**A** 年1回の「互礼会」、いわゆる同窓会を毎年1月に開催することだけは、継続して実施できるよう頑張りたいと考えています。これと連動して年1回の広報誌発行もできるよう準備しています。

まずこの「互礼会」が役員に過度な負担なく実施できるかを見極め、余力があるようでしたら、他の活動も検討していきたいと考えています。

## Q. 勉強会はどうなりますか？

**A** 昨年度までのような形式での校友会勉強会の開催は、学院建物が無くなるという「会場」面、そして企画から告知、参加受付、当日までの運営を担当する学院事務職員もいなくなるため「人材」面からみても、極めて厳しい状況です。

ただし、今年度は会長が発起人となって開催する勉強会が確定しています。別資料参照下さい。また、校友会とは全く別で卒業生が自主的に開催している勉強会の告知協力等については、現在役員にて検討中です。

## Q. 校友会からの連絡はどのような方法で行われるのでしょうか？

**A** 年2回、郵送物をお手元にお送りする予定です。

10～11月ぐらいに往復ハガキにて翌年1月に開催する新年互礼会の案内を、3～4月には、1年の活動内容や予算決算を掲載した広報誌等をお送りする予定です。

また校友会ホームページ、ブログは継続していきます。こちらもどの程度の頻度で更新できるかは、卒業生だけで実際に運営してみなければわかりませんが、時々訪れて下さい。

## Q. 郵送物の送付先住所が変わる場合は、どうすればいいのでしょうか？

**A** 今後転居等で郵送物の送付先が変わる場合は、校友会事務局への郵送もしくは、校友会ホームページ（お問い合わせのページ）、メールアドレス、校友会携帯のいずれかを通じてご連絡下さい。各住所・アドレス・電話番号は、この広報誌の最後のページを参照下さい。

住所は卒業生と校友会を結ぶ大切な情報です。変更があった際には校友会にもご一報下さい。

## 校友会役員からの一言

卒業してから11年。

色々な友人とも知り合え、今現在があります。アムスで知り合えた事に深く感謝しております。

また、校友会会長としての重責、医療人としての自覚を感じながらこれからも精進していきたいと思っています。

柔道整復師としての経済活動、経世済民を胸に頑張っていきたいものです。

山脇 功治（1期生）

今の仕事をやる為の勉強、免許、仲間、いろんなモノと出会い、学びを得ることができた場所でした。ありがとうございました。

三雲 大輔（1期生）

アムスでの三年間は、自分にとって人間的に大きく成長することが出来ました。アムスという建物がなくなっても、アムスの卒業生という事実は変わりません。

これからも「アムスに行って良かった」と胸を張って言い続けていきます。誇りに思える学校に出会えることができ、本当に感謝しています。ありがとうございました。

矢口 貴史（2期生）

アムスはたくさんのお出会いがあった場所だと思っています。その多くの出会いが学びであり、医療人としての今の自分の礎となっているように思っています。

また校友会役員をやらせていただき、それまで経験したことがないようなことも経験できたことはとても感謝しています。ありがとうございました。

宮崎 大介（2期生）

アムスで学ばせていただいた事は、生涯を通しての財産となっています。

アムス卒業生として、それに恥じぬようこれからも頑張っていきたいと思います。

星本 真和（3期生）

国試の勉強だけでなく、実際に臨床で役立つ治療技術や知識の勉強会を豊富に用意して頂き本当に感謝しています。閉校後もその恩返しができたらと思っていますのでよろしくお願いいたします。

福井 宏昌（4期生）

アムスを卒業し8年間、校友会役員として携わってきました。いろいろなイベント・講座などへの参加、診療放射線技師の資格を持っていることから、レントゲンの診方講座を担当させてもらったことなど、貴重な経験をつませていただきました。これからも、柔道整復師としてまた、校友会の仲間と共に成長していきたいと思っています。

塚本 哲生（4期生）

アムスでは、幅広い年齢層にさまざまな職種や経歴を持った人達との出会いがあり、勉強だけでなく社会勉強もさせてもらいました。その出会いを今後とも大切にしながら、アムス学院卒業生として誇りを持ち歩んでいきたいと思っています。

清水 義郎（4期生）

## 校友会役員からの一言

今があるのはアムスがあったおかげです。卒業後も校友会を通じたたくさんの人と交流できました。ありがとうございました。

木村 壮臣(4期生)

偉大な先輩方、最高の同期、かわいい後輩達と出逢えたのはアムスのおかげです。閉校するのはとても残念やけど、アムスが繋げてくれた、つながりは決して消えることはないです。本当にありがとうございました。

春田 雄司 36才(4期生)

アムスを卒業し、柔道整復師として仕事に携わる中、今でも入学試験の時に書いた小論文を思い出します。「どんな柔道整復師になりたいか」その時に書いた思いが今でも私の中に生きている事は、アムスで勉強できた三年間、そこで出会えた仲間達があったからだと言えます。母校がなくなってしまうのは残念ですが、仲間がなくなる訳ではないので、この出会いに感謝し、これからもアムスの精神を引き継いでいきたいと思います。

木下 昌子(5期生)

在校生、浪人生、OB講師、校友会役員様々な形で入学してから9年間お世話になりました。現在、人生の3分の1以上はアムスでできています。沢山の方と出会いお世話になったことは文字通り血や肉となっていることと思います。それらをこれからも大事にし「Advanced Medical Service」できるよう日々勉強したいと思います。

岡村 優輝(6期生)

アムスでの3年間はあっという間でした。しかしその3年間で出会った先生方や友人との繋がりが今の自分にとってとても大切な物になっています。その繋がりを大切にしながら柔道整復師として頑張っていきたいと思います。

三井 慎也(8期生)

高校卒業と同時に入学し、年齢も考えも様々な人達に出会いました。刺激的でした！！(笑)

本当に人と人の繋がりは大事に感じて、色々な人に助けてもらいました。そして、校友会としての活動は本年度もしていきますんで興味ある方は是非一緒に26年度も頑張っていましょー！

辻尾 雅史(9期生)

アムス在学中、卒業することを考えると、まだ2年生のうちから、何だか淋しくなったものです。閉校は本当に残念ですが、思い出一杯の3年間に胸に、アムス卒業生として、医療人として、誇り高い人生を歩んで行きたいと思います。

山崎 園子(9期生)

あるのが当たり前の存在だった母校が無くなるのは残念です。アットホームな先生方のおかげで無事卒業できたので本当に良かったです。この学校で得た沢山のものをバネにこれからも頑張っていけます。

伊福 玲子(10期生)

アムスと出会って数年で閉校になってしまうのは無念ですが、いろんな人との出会いの場を作ってもらい、人間としても成長させてもらったと思っています。学校が無くなっても、熱い思いと仲間との絆は消えることはないのです。今後も精進していきたいです。今までお疲れ様でした。

飯沼 大地(10期生)

## アムス柔整学院の今

この原稿を書いているのは4月の初旬。3月末日をもって、正式にアムス柔道整復師養成学院は、その14年の歴史に幕を閉じました。

閉校後も4月12日まで臨時開館していますが、学院内の備品や蔵書を運び出して建物内が少しずつ閑散としていく様を見て、学院内であった様々な出来事・行事、そして学院に携わった皆さんの情熱を思い出し、当時を振り返ると共に寂しさを感じています。

これまで学院を支援していただいた卒業生の皆さんに、この場をお借りして改めてお礼申し上げます。

先般12期生が挑んだ第22回国家試験も先月27日に発表があり、12期生は37名中28名合格、既卒の方も10名合格されました。合格された方、改めておめでとうございます。残念ながら結果を出せなかった方は、来年こそは合格を掴みとってください。

私自身も城見会の採用面接を受け、「柔整の学校を開くけれど、そこの事務職として働いてみないか。」と声をかけていただいたのが2000年1月。開校3ヶ月前の「柔道整復師ってどんな資格？」という素朴な疑問から、この学院への勤務がスタートしました。柔整業界も学校の仕事も何も知らずに飛び込んで、この14年間、職場の上司・同僚、そして先生方に教わったことも多いのですが、それと同じぐらい学生の皆さんに色々なことを教わり、育てていただいたと感じています。感謝の言葉しかありません。

校友会の実務からは退きますが、陰ながら応援させていただきます。時には道でバツタリ顔を合わせることもあると思います。見かけたら声をかけてください。14年間ありがとうございました。そして、これからもよろしくお願いします。

豊田 靖



今回「感謝の集い」で撮影した写真はダウンロードが可能です!!

校友会ブログ → アムスリンク → 写真ダウンロード!! をクリック

Password ● kannsya323

ダウンロード可能期間 ● 広報誌到着から約60日間



今後もこの方法で  
写真をお配りできるようにします!



アムス校友会通信

Vol.10 2014.4

アムス柔道整復師養成学院 校友会事務局

〒540-0037 大阪府中央区平野町1丁目2-9  
グランドビル大手前3階304号

TEL070-5502-3953

HP <http://www.ams-koyukai.jp>

E-mail [info@ams-koyukai.jp](mailto:info@ams-koyukai.jp)